

就労・復職支援3施設 どこを選ぶ？

特集

栄仁会では
就労・復職支援にかかわる
部門として3つの施設を運営しています。

各施設は特性・方向性が異なるため、利用者は自分の状況に合った施設を選ぶことでスムーズに
就労・復職ができます。3施設のスタッフに、各施設の特性などについてお話をうかがいました。



京都駅前メンタルクリニック
バックアップセンター・きょうと
松田 匡弘 (まつだ まさひろ) / 作業療法士



リカバリーセンター・きらり
森永 唯 (もりなが ゆい) / 臨床心理士・公認心理師



ワークネットきょうと
金森 翔 (かなもり しょう) / 精神保健福祉士

まず、3施設の大まかな立て分けから

栄仁会には、就労支援を行う施設として「ワークネットきょうと」(以下、**ワークネット**)と「リカバリーセンター・きらり」(以下、**きらり**)、復職支援を行う部門として、「京都駅前メンタルクリニック」に付属する「バックアップセンター・きょうと」(以下、**BU C**)があります。

3つはそれぞれ特性が異なるわけですが、一般の利用者から見ると、その違いがわかりにくいと思うんです。そこで、3施設の違いを浮き彫りにして周知する記事を作ろうというのが、今回の企画です。

Q まず、基本的なことですが、就労支援と復職支援は違うのでしょうか？

松田 復職支援も広い意味では就労支援に含まれます。ただし、復職支援という場合は、「一時的に休職中の方が元の会社に復職するのを支援する」という位置づけになります。

Q 3施設の中で、**BU C**は復職トレーニング専門の精神科デイケアを行っているのですか？

松田 はい。うつ病などの気分障害やストレス疾患で休職中の方が、**BU C**の対象になります。

Q それに対して、**ワークネット**は就労経験がない方の就労を支援するのですか？

金森 いや、そうとは限らないですね。求職中で社会復帰を目指している利用者も多いです。むしろ、「一度も働いたことがない」という利用者は一割もいないと思います。

ただ、**BU C**の利用者は復職一歩手前の休職者が多い